



## 天然ガス自動車を広め、地球にやさしい空気を

株式会社エコトラック 代表取締役 池田 治子

全国商工会議所女性会連合会第38回三重全国大会終了後、「第5回女性起業家大賞」最優秀賞に輝いた池田さんに、仕事に対する思いや今後の抱負などを聞いた。

### 創業のきっかけは

主人の運送会社を手伝っていたところ、京都會議(COP3)が開催された平成9年ごろから、トラックなどの排気ガスに含まれる成分が大気汚染を引き起こしていると、盛んに「マスクミ」で取り上げられるようになりました。また、次女が重いアトピー性皮膚炎で、環境汚染が原因ではないかといわれました。そこで、今のままの運送会社ではいけないのではないかと思っていたときに、天然ガス車と出会いました。

地元大阪の守口市民祭りの会場で、天然ガス車の2トトラックが「排気ガスがクリーンなトラック」と紹介されていたのです。排気ガスは有害なものというのが常識でしたので、大変衝撃的でした。それで、この天然ガス車だけの運送会社を新しくつくろうということになったのです。

### ご主人の会社で展開しようとは考えなかったのですか

弊社を創業した時から、「貨物運送における低公害車両の普及を通して地球環境保全に取り組むことにより、企業市民としての社会的貢献を果たす」という経営理念をしっかりと持っていました。その実現のためには、少しでも多くの天然ガス車の利用・普及が不可欠。一運送会社での使用には限りがあるので、天然ガス車だけの

運送会社が業績を伸ばして注目されれば、弊社以外でも導入が進むのではと考えたのです。

### ライバルが増えることも辞さない……と

「低公害トラックの普及活動」は重要な活動です。もちろん、「低公害車による運送業」も事業として成立しなければいけません。この2つの活動を同じくらいの割合で展開しています。企業はお金もうけをするものですが、私はそれだけだとは思っていません。利益を上げることと低公害トラックの普及という社会貢献のための活動は、決して矛盾しないと思います。

普及活動で一番力を入れているのが、小中学校に出掛ける出張環境教育授業。天然ガストラックと従来型トラックの2台で訪問し、排気ガスの違いを、皆さんの目や鼻で確かめていただいています。弊社を設立した平成11年からこれまでに、約100校、約1万人の子供たちや先生方に授業を開きました。

### 創業以来、運送業は順調だったのですか

最初は天然ガストラックばかり5台でスタートし、とても苦労しました。当時、天然ガス車は「高い、走らない」のマイナスイメージばかり。理念だけで客がつくわけではないので、とにかく売り

込みました。今までと同じ経費で、なおかつ天然ガス車を使用しているとの社会貢献活動をアピールできるようなると地道に営業したのです。徐々にお客さまもつき、小さな額ですが初年度から黒字になりました。

現在では、冷凍車やドライバン、平車、ウイング車、ハイブリッドトラックなど、低公害車ばかり38台を所有するまでになりました。

### 今後の抱負は

会社として足場を固めるため、中間管理職の育成、特に女性の管理職を育てたいと思います。

そして、全国で普及活動もさらに行いつつ、天然ガス車の中古車市場を充実・活性化させていく活動を行っていきたくですね。

女性の既成概念にとらわれない発想は素晴らしいと思います。いいものなら買おう、使おうと即決します。初めて弊社に荷物を頼んでいただいたのは、守口門真女性会の会員。それが縁で女性会に入会したんですよ。

#### 株式会社エコトラック

平成11年創業。一般貨物自動車運送業。天然ガス自動車で低公害化を進める。

<http://www.ecotruck.co.jp>

